

備前市事務事業評価表

事務事業名	農業用施設維持管理事業(備前)		コード	04-01-01-03	担当課係	農林振興課
事業実施期間			担当者	大道健一	電話	0869-64-1831
総合計画 事業(政策)体系	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり				
	中項目	豊かな食を支えるまちづくり				
	小項目	農業				
	施策	農業基盤の整備				

事業について	
目的	農道、ため池、頭首工、用水路等農業基盤の管理及び整備を行うことにより、関係住民の安全と受益者の農作業の効率化を図る。
対象(誰のために)	農家等受益者並びに水利施設下流住民。
内容	農業用基盤施設(農道、ため池等)の改修整備、維持補修等の実施。

事業の結果	17年度							
実施項目	回数など (単位)		回数など (単位)		回数など (単位)			
工事件数等								
農道管理等	11 件							
ため池管理等	7 件							
頭首管理等	2 件							
用水路管理	29 件							
事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	10,447	国県補助金等	100	直接事業費		国県補助金等	
	人件費	7,098	受益者負担	2,940	人件費		受益者負担	
	合計	17,545	市債		合計	0	市債	
必要人員	0.89 人							
結果指標①	結果指標名	農道管理等						
	結果指標量	11						
	単位	件						
	対前年比	—						
	事業費	2,734,210 円		0.00%		円		
結果指標②	結果指標名	用水路管理等						
	結果指標量	29						
	単位	件						
	対前年比	—						
	事業費	4,961,021 円		0.00%		円		
単位数	171,070 円				円			

事業の成果	施設修繕等件数			式又は説明	維持管理のため目標値の設定はできない。
成果指標名	17年度				
成果指標量	49				
対前年比	—		0.00%		
到達目標値			到達目標年度		

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位数に留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である [関係法令等:]
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている
課題認識		農業生産基盤の適正な維持管理を行うとともに、災害を未然に防止、又、最小に止めるための事業であるが、市のみの危険箇所の把握、維持管理等には限界があるため、地元関係者からの指摘、要望が重要であることから緊急性・必要性を考慮し事業を実施。  工事等実施にあたっては受益者負担を求めるとともに、修繕等は見積徴収を行い事業実施。工事設計にあたっては契約管理課に審査を受けるなどコスト削減に努め適正な事業の執行により効率性を高める。  地元(受益者等)からの要望により、予算並びに緊急性等を鑑み妥当な事業から実施。場合によっては市のほうからの働きかけも必要である。

総合評価	農業用施設は本来の農業目的以外にも農道は生活道路。また水利施設は防火用水、洪水調整、砂防等多機能な要素も兼ね備えるなど重要な施設であるが、大半が集落の上流部に位置し、老朽・機能不足のため池は洪水時には非常に危険であり今後とも本事業による維持管理が必要である。	評価区分 <A~E> <b>A</b>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合	
翌年度	結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量	

改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果